ご 挨 拶

― 集団精神療法の知を問う ―

2020 年初頭から始まった新型コロナ・COVID-19 のパンデミックからほぼ一年が経過する中、こうして日本集団精神療法学会第 38 回学術大会の抄録をお届けできることを、運営委員一同大変うれしく思います。思えばこの 38 回大会の準備期間は、新型コロナの感染拡大に一喜一憂し右往左往する日々でした。昨年 3 月の 37 回学術大会が現地での開催が取りやめになり、私たちの 38 回大会は当初考えていた東京都千代田区にある一橋講堂で開催するか、ウェブ開催にするか、ハイブリットにするかと様々な可能性を模索せざるを得ませんでした。4 月 7 日に出された緊急事態宣言が 5 月 25 日に解除され、夏には感染も少しは収束するだろうという期待は見事に裏切られ、感染者数は 7 月、8 月と激増していきました。この時点でどう考えても 2021 年 3 月時点での現地開催は無謀であり、むしろウェブによるリモート開催を決断することの方が実現可能ではないかと考え最終的にウェブ開催という方法を取ることになりました。これまでのように直に顔と顔を合わせ、グループを囲み、ディスカッションするという従来の集団精神療法学会の方法から、ウェブでの開催という新たな方法へと舵を切ったのです。今この原稿を書いている 1 月 6 日の時点で新たな緊急事態宣言がじきに発令されるという事態になり、ウェブ開催という決断が最善の選択であったと思わざるを得ません。ウェブでの大会ということで不安やアクセスへの困難をお持ちの会員の方々にご不自由をおかけすることになるのは、本当に申し訳ないと思います。その一方で、安全性を重視しつつ、新型コロナ感染拡大による長きに渡る孤立を防ぎ、再び出会うことの大切さを優先したいとあらためて思いました。そしてこのウェブでのリモート大会が新たな集団精神療法の地平を切り開くものとなることを願っています。

第 38 回大会は「集団精神療法の知を問う」というテーマを選びました。これは、中村雄二郎（1992）の「臨床の知とは何か」から啓発されて考えたテーマです。中村は臨床の知を「個々の場合や場所を重視して真相の現実にかかわり、世界や他者が我々に示す隠された意味を相互行為の内に読み取り、捉える働きをする」ものである（p135）と定義します。そして「直観と経験と類推の積み重ねから成り立っているので、そこにおいては特に経験が大きな働きをし、また大きな意味を持っている」（p136）と説きます。日本集団精神療法学会は常に理論とそして経験から学ぶことを重視してきました。国内外からの理論を取り入れつつ、臨床の現場でいかに実践していくかを考え、知見と工夫を積み重ねてきました。ただ、この知見や工夫、すなわち「集団精神療法の知」を言葉にし、互いに研鑽し、外に発信することを私たちはどこかで臆していないでしょうか？集団精神療法では何ができるのかを、本大会で今一度問い直してみたいと思います。

本大会では様々な集団精神療法の技法を実践する中で、どのような工夫がなされ、どのように生かされてきたかを問い直す大会にしたいと思います。今回は会員の皆様のご協力で、大会企画プログラム 16 題、自主ワークショップ 8 題，一般演題 19 題というバラエティーに富んだ内容で開催することとなりました。また招待講演者として、ヨーロッパと南米で活躍しているグループアナリストのエリザベス・ロアをドイツからお招きし、実践的なグループアナリシスの臨床体験を基に「グループアナリシスの治療的要因」と題した講演と「グループアナリシスにおけるスーパーヴィジョンと情景的理解スーパーヴィジョン」と題したワークショップをお願いします。一日目のプログラム終了後にはウェブによる懇親会も開催予定です。最終日の午後には参加者の皆さん一堂に会した大グループでのシンポジウム・ディスカッションと大グループも予定しております。

初めてのウェブ開催ということで、参加者の皆様にはご不自由をおかけすることもあろうかと思います。運営委員会一同でできる限りのサポート体制は取る予定でおりますが、ネット接続の不具合等様々な困難も予想されます。どうぞご不明な点等ありましたら、ご意見をお寄せください。世界中でソーシャル・ディスタンスを埋める様々な試みが始まっているなかで、これまでの知見だけでなく、ウェブのような新たなツールを使った知見をどのように集団精神療法の中に生かしていくかを持ち寄り考える機会にもなることを期待しています。

では 3 月 20 日 21 日にウェブ上でお会いできることを楽しみにしています。

参考文献

中村雄二郎（1992）臨床の知とは何か，岩波新書，東京：岩波書店

日本集団精神療法学会第 38 回大会

大会長　　関　百合

日本集団精神療法学会 第38回学術大会のご案内

【大会参加及び留意点について】

・Web会場には学会ホームページ内の大会ホームページを経由してご参加ください。
・ログインページにて、参加申込の際に登録したmailアドレスとパスワードを打ち込むと、Web会場（マイページ）にご参加いただけます。
・本大会はWebミーティングアプリのZoomを用いますので、事前にdownloadをお願いします。
（大会ホームページにdownload方法の詳細を掲載しています。）
・Web接続に不安のある方は、3/19（金）12：00～14：00にマイページから大会本部に接続してください。
・Web会場（マイページ）には、事前申込を済まされたワークショップの他、全員参加のプログラム、入退室自由のプログラム、そして動画配信ページへのリンク等が表示されます。
・参加証及び領収書が必要な方は、マイページよりdownloadしてください。
・配布資料があるプログラムは、マイページに表示される各プログラム名横のPDF.ファイルをdownloadしてください。（downloadはなるべく事前に済ませてください。）
・プログラム参加中の飲食については、最低限のマナーをお守りください。
・大会に参加された方は守秘義務にご留意の上、参加登録の際に誓約いただいた内容を厳守してください。

【プログラム参加について】

本大会は、リアルタイム配信とオンデマンド配信を併用したWeb開催です。

シンポジウム

・シンポジストの講演は、事前に動画にて配信します。
・動画配信期間は3/14（日）～3/28（日）です。
・配信動画は1講演約15分、合計約60分です。
・大会当日3/21（日）14：30からのシンポジウムは、ディスカッションからの開始となります。事前にシンポジストの講演を視聴してご参加ください。
・シンポジウム後半は大グループ形式です。
・配信動画を未視聴の場合も、当日のシンポジウム・大グループにはご参加いただけます。
・事前にコメント欄にお寄せいただいたコメントに関するディスカッションは、大会当日のシンポジウムにて行います。

一般演題

・オンデマンド配信期間は3/14（日）～3/28（日）です。
・配信期間中、いつでも視聴が可能です。
・各発表は、マイページより各動画配信ページへ移動し、動画タイトルをクリックして視聴してください。
・口頭での質疑応答はありません。
・質疑やディスカッションの場としてコメント欄を設けています。
・発表者がリアルタイムで返信する場合、コメント欄の冒頭に時間帯が記入されています。
・コメント欄への書き込みは3/21（日）18：00が最終となります。

大会企画ワークショップ／自主ワークショップ

・3/20（土）、3/21（日）のリアルタイム配信です。
・大会参加申込時に参加登録をしたプログラムにご参加ください。
・参加プログラムの変更はできません。
・各プログラムへは、開始時間の 30 分前より入室が可能となります。
・開始時間の 10 分前には入室を完了してください。
・プログラム参加中は、名前の表記を『(漢字等) 正確なフルネーム/ (所属)』にしてください。

【大会長・特別講演等、録画配信について】

・3/22（月）～3/28（日）の間、大会期間中にリアルタイム配信された、大会長講演・特別講演・招待ワークショップ前半・基礎講座前半・シンポジウムの録画映像を配信します。参加できなかった方はどうぞご覧ください。

【大会本部について】

・大会本部へはマイページから接続してください。
・大会参加についての質問等を受け付けます。
・大会本部への接続ができない場合は mail：38tokyo@jagp1983.com にて受け付けます。
・開設時間は以下の通りです。
3/20（土）9：00～17：30
3/21（日）9：00～17：30
・参加者は当日の受付の必要はありません。

【当日参加について】

・当日参加の受付はありません。
・事前に参加申込をお願いします。(締切：3/17（水))

【書籍販売について】

・Web 会場マイページより、書籍販売特設ページへのリンクがあります。

【懇親会について】

・大会 1 日目の 3/20（土）18：45 より（～20：00）懇親会を開催します。
・マイページよりご参加ください。
・定員はございませんが参加申込制です。
・懇親会の参加費は無料です。
・飲食は各自でご準備ください。
・ブレイクアウトルームを用いて行います。
・皆さまのご参加をお待ちしています。

【CGS ミーティングについて】

・大会 1 日目の 3/20（土）17：45～18：30 に開催します。
・参加予定の方は事前登録（学会ホームページ・ニューズレター参照）のうえご参加ください。
・当プログラムは教育研修委員会の主催であり、参加資格は当学会認定のグループサイコセラピスト、スーパーバイザー、キャンディデイトのみとなっております。

【発表者・企画者・シンポジスト・コンダクターなどの演者の方へ】

・演者の皆さまは、発表プログラムの開始 30 分前までに、大会本部に接続確認にお越しください。
・会場は 30 分前から開場し、参加者には 10 分前までに入室完了を要請します。
・録音・録画及びデータの保管方法、並びに使用目的について、プログラムにおいて参加者への説明をお願いします。
・オンデマンド発表動画の配信期間は 3/14（日）～3/28（日）で、コメント欄への書き込みは 3/14（日）～3/21（日）です。最低 1 日 1 回は、コメント欄のチェックと返答をお願いします（最終の返答を 3/21（日）の 18 時までにお願いします）。
・発表者がリアルタイム返信の時間帯を設定する場合、コメント欄の冒頭に記入してください。

【その他】

・本大会は、日本精神神経学会精神科専門医資格認定更新・研修ポイント取得対象学会として承認されました。大会本部にて 3/20（土）～3/21（日）9：00～9：45 の間に手続きをお願いします。
・基礎講座、体験グループⅠ・Ⅱは教育研修委員会の研修プログラムに該当しますので、必要とされる方には参加証を発行いたします。

プログラム

・定員のあるプログラムへの参加申込は先着順です。
・参加費の支払いが確認された時点で申込完了となり、申込後の変更はできません。
・各プログラムの参加資格、定員、録音・録画の有無、カメラ機能 OFF での参加の可否については下の一覧の通りです。

			LIVE 配信					
14日〜18日								
19日	12:00〜14:00		← 参加者向け 接続リハーサル	プレコングレス				
20日（土）	9:00〜9:50	大会本部						
	9:50〜10:00		開会式					
	10:00〜10:45		大会長講演 関 百合					
	11:00〜12:00		特別講演 Curative Factors or Group Analysis（グループアナリシスにおける治療的因子） Erisabeth Rohr					
	12:00〜14:30		代議員会 12:00〜13:10 総 会 13:20〜14:20					
	14:30〜17:30		基礎講座 岡島 美朗 桜庭 拓郎	【大会企画ワークショップ】 Erisabeth Rohr の GroupSupervision Erisabeth Rohr 通訳者 揖斐 衣海 荻 本 快 北原 祐理	【大会企画ワークショップ】 体験しながら学ぶ SST 入門 触松 克代 片柳 光昭 佐藤 幸江	【大会企画ワークショップ】 子どものグループにおける言葉とアクティビティについて考える 吉沢 伸一 加本 有希 宮口 英樹 糸 賀 孝 中里 容子 渡部 京太	【大会企画ワークショップ】 治療共同体・実践の知 古賀恵里子 川合 裕子 岸 信 之 滝谷 七重 田中 怜子 宮城 崇史	【大会企画ワークショップ】 こうえん —出入り自由の体験グループ since2008— 髙 橋 馨 野 中 稔 藤澤 希美 卜部 裕介
				会員のみ参加可				
			定員無し	定員 20 名	定員無し	定員無し	定員 40 名	定員無し
			前半録画/後半録音	前半録画	録音・録画	録音・録画	録音・録画	録音
			カメラ OFF 可					カメラ OFF 可
	17:45〜18:30		CGS ミーティング					
	18:45〜20:00		懇 親 会					
21日（日）	9:00〜10:00	大会本部						
	10:00〜13:00		【大会企画ワークショップ】 Covid19 をめぐるあれやこれ、体験グループやります 林 公 輔 千田 弘子 月江ゆかり 桜庭 拓郎	【大会企画ワークショップ】 グループ設定での MBT（メンタライゼーションに基づく治療）入門 西 村 馨 崔 炯 仁 白波瀬丈一郎	【大会企画ワークショップ】 新しいサイコドラマへの試み —zoom という場におけるサイコドラマのあり方 — 高橋 美紀 藤巻加奈子	【大会企画ワークショップ】 発達障害専門デイケアプログラムワークショップ －成人期自閉症スペクトラム症に対するグループワーク－ 横井 英樹 五十嵐美紀 水 野 健 今井 美穂	【大会企画ワークショップ】 オンライングループの実践と課題 — 学校・教育領域職員の学びと憩いの場から — 梶本 浩史 野 村 学 加本 有希 庄司 真理 鎌田明日香 松尾真規子	【大会企画ワークショップ】 こうえん —出入り自由の体験グループ since2008— 髙 橋 馨 野 中 稔 藤澤 希美 卜部 裕介
			定員無し	定員無し	定員 23 名	定員無し	定員 19 名	定員無し
			録音	録音・録画	録音・録画		録音	録音
			カメラ OFF（可）					カメラ OFF 可
	13:00〜14:30							
	14:30〜17:30		シンポジウム 「集団精神療法の知を問う」 横井 英樹 佐藤 幸江 藤堂 宗継 加藤 隆弘 大グループ 関 百 合 鈴木 純一					
	17:30〜17:45		閉会式					
22日〜28日								

LIVE 配信

OnDemand 配信

一般演題①～⑲ 音声スライド

シンポジスト 音声スライド

【大会企画ワークショップ】 東日本大震災等の 相互支援グループ 針生 江美 安部 康代 高林 健示 長友 敦子 藤 信子 藤澤 美穂	体験グループⅠ 嶋田 博之 杉山恵理子	【自主ワークショップ】 ナラティヴなグループアプローチを体験する（その 10） -「解決志向リフレクティング」による体験グループの試み- 田代 順 望月 洋介	【自主ワークショップ】 スクールカウンセラー×集団精神療法 ―学校でおきることを集団精神療法的な視点と方法で検討する― 梶本 浩史 菊地寿奈美 菅 武史 那須 里絵	【自主ワークショップ】 身体は語りあう －オンライングループにおける身体性を考える― 鎌田明日香 水上真理子	【自主ワークショップ】 “感情”を理解するためには ――症例検討のやり方 ―〈理解のための補助線〉 〈“感情”が言葉になるまでの三段階〉― 柴田 応介 16:00
	会員のみ参加可				
定員 19 名	定員 20 名	定員 16 名	定員 21 名	定員 23 名	定員無し
録音・録画	録音	録音・録画	録音	録音・録画	

体験グループⅡ 吉野比呂子 加藤 祐介	【自主ワークショップ】 “機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ 鴨澤あかね 大島寿美子 泉屋 有理	【自主ワークショップ】 「不祥事」（あるいは「Dr.Y 問題」）と呼ばれる出来事と「学会のトラウマ」をめぐって ― partⅢ 22＋3 年目の振り返り ― 菊地寿奈美 浅田 護 河合 健彦 田辺 等	【自主ワークショップ】 救急病棟におけるグループの実際と意義 ―地域生活支援をみこした急性期治療の展開― 吉川 真衣 高 富栄 福澤 宏之 森本 松子 二之宮正人 東端 憲仁 11:30	11:30 【自主ワークショップ】 日本学術会議会員任命拒否問題を集団精神療法家が考える ―個人・組織・社会の観点から― 荻本 快 藤 信子 前田 潤 神宮 京子 桜庭 拓郎
会員のみ参加可		会員のみ参加可		
定員 20 名	定員 9 名	定員 21 名	定員 25 名	定員無し
録音	録音・録画	録音	録音・録画	録音・録画

大会長講演

特別講演

Erisabeth Rohr の GSV 前半

シンポジウム

基礎講座前半

大会企画ワークショップ

日時	企画名	企画者	定員／録音・録画
20日（土） 14：30～ 17：30	基礎講座	企画者　：岡島 美朗　（自治医科大学附属さいたま医療センター） 共同企画者：桜庭 拓郎　（恵愛会青木病院）	会員のみ 定員なし 前半録画 後半録音
20日（土） 14：30～ 17：30	Elisabeth Rohr の Group Supervision	企画者　：Elisabeth Rohr（元マールブルグ大学教授） 関 百合　（一橋大学保健センター） 鈴木 純一　（東京集団精神療法研究所）	会員のみ 定員20名 前半録画
20日（土） 14：30～ 17：30	体験しながら学ぶ SST 入門	企画者　：舳松 克代　（特定非営利活動法人 横浜メンタルサービスネットワーク） 共同企画者：佐藤 幸江　（東京海上日動メディカルサービス株式会社／日本大学） 片柳 光昭　（みやぎ心のケアセンター）	定員なし 録音・録画
20日（土） 14：30～ 17：30	子どものグループにおける言葉とアクティビティについて考える	企画者　：渡部 京太　（広島市こども療育センター） 中里 容子　（明治大学子どものこころクリニック） 共同企画者：吉沢 伸一　（ファミリーメンタルクリニックまつたに） 加本 有希　（相模原市立青少年相談センター） 宮口 英樹　（広島大学大学院医系科学研究科　作業行動探索科学分野） 糸 賀　孝　（広島市こども療育センター）	定員なし 録音・録画
20日（土） 14：30～ 17：30	治療共同体・実践の知	企画者　：古賀恵里子　（大阪経済大学） 共同企画者：川合 裕子　（京都大学医学部附属病院デイ・ケア診療部） 岸 信 之　（京都桂病院） 滝谷 七恵　（（公財）浅香山病院臨床心理室） 田中 怜子　（社会復帰施設ケース検討会助言者） 宮城 崇史　（京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学））	定員40名 録音・録画
20日（土） 14：30～ 17：30	こうえん ー 出入り自由の体験グループ　since2008 ー	企画者　：高 橋　馨　（日本医科大学附属病院精神神経科） 共同企画者：野 中　稔　（保健同人社） 藤澤 希美　（国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科） 卜部 裕介　（公立学校共済組合関東中央病院）	定員なし 録音
20日（土） 14：30～ 17：30	東日本大震災等の相互支援グループ	企画者　：針生 江美　（国見台病院） 共同企画者：安部 康代　（安田病院） 髙林 健示　（クボタ心理福祉研究所） 長友 敦子　（宮城県子ども総合センター） 藤 信 子 藤澤 美穂　（岩手医科大学教養教育センター）	定員19名 録音・録画
20日（土） 14：30～ 17：30	体験グループⅠ	嶋田 博之　（東日本少年矯正医療・教育センター） 杉山恵理子　（明治学院大学）	会員のみ 定員20名 録音
21日（日） 10：00～ 13：00	Covid19 をめぐるあれやこれ、体験グループやります	企画者：　林 公 輔　（学習院大学） 千田 弘子　（社会医療法人社団さつき会袖ケ浦さつき台病院） 月江ゆかり　（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所） 桜庭 拓郎　（医療法人恵愛会青木病院）	定員なし 録音
21日（日） 10：00～ 13：00	グループ設定での MBT （メンタライゼーションに基づく治療）入門	企画者　：西 村　馨　（国際基督教大学） 共同企画者：崔　炯 仁　（いわくら病院） 白波瀬丈一郎　（東京都済生会中央病院）	定員なし 録音・録画
21日（日） 10：00～ 13：00	新しいサイコドラマへの試み ～ zoom という場におけるサイコドラマのあり方 ～	企画者　：高橋 美紀　（S&C サイコドラマ・ラボ） 共同企画者：藤巻加奈子　（誠心会神奈川病院）	定員23名 録音・録画
21日（日） 10：00～ 13：00	発達障害専門デイケアプログラムワークショップ －成人期自閉症スペクトラム症に 対するグループワークー	企画者　：横井 英樹　（昭和大学発達障害医療研究所　昭和大学附属烏山病院） 共同企画者：五十嵐美紀　（昭和大学発達障害医療研究所　昭和大学附属烏山病院） 水 野　健　（昭和大学発達障害医療研究所　昭和大学附属烏山病院） 今井 美穂　（昭和大学発達障害医療研究所　昭和大学附属烏山病院）	定員なし
21日（日） 10：00～ 13：00	オンライングループの実践と課題 ～ 学校・教育領域職員の学びと憩いの場から ～	企画者　：梶本 浩史　（東京都公立学校スクールカウンセラー） 共同企画者：野 村　学　（オリブ山病院・沖縄県スクールカウンセラー） 加本 有希　（相模原市立青少年相談センター） 庄司 真理　（東京都公立学校スクールカウンセラー） 鎌田明日香　（札幌市スクールカウンセラー） 松尾真規子　（駒沢女子大学）	定員19名 録音
21日（日） 10：00～ 13：00	こうえん ー 出入り自由の体験グループ　since2008 ー	企画者　：高 橋　馨　（日本医科大学附属病院精神神経科） 共同企画者：野 中　稔　（保健同人社） 藤澤 希美　（国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科） 卜部 裕介　（公立学校共済組合関東中央病院）	定員なし 録音
21日（日） 10：00～ 13：00	体験グループⅡ	加藤 祐介　（赤城高原ホスピタル） 吉野比呂子　（昭和女子大学）	会員のみ 定員20名 録音

自主ワークショップ

日時	企画名	企画者	定員／録音・録画
20日（土） 14：30～ 17：30	ナラティヴなグループアプローチを体験する（その10） －「解決志向リフレクティング」による体験グループの試み －	企画者　：田 代　順　（山梨英和大学） 望月 洋介　（浜松医科大学精神科）	定員16名 録音・録画
20日（土） 14：30～ 17：30	スクールカウンセラー×集団精神療法 － 学校でおきることを集団精神療法的な視点と方法で検討する －	企画者　：梶本 浩史　（東京都公立学校SC） 菊地寿奈美　（京都市SC） 菅　武 史　（広島市SC） 那須 里絵　（東京都SC）	定員21名 録音
20日（土） 14：30～ 17：30	身体は語りあう － オンライングループにおける身体性を考える －	企画者　：鎌田明日香　（大通りつげのクリニック） 水上真理子　（北仁会石橋病院）	定員23名 録音・録画
20日（土） 14：30～ 16：00	“感情”を理解するためには――症例検討のやり方 －〈 理解のための補助線 〉〈 “感情”が言葉になるまでの三段階 〉－	企画者　：柴田　応介　（アパリクリニック）	定員なし
21日（日） 10：00～ 13：00	“機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ	企画者　：鴨澤あかね　（北星学園大学） 大島寿美子　（北星学園大学） 泉屋 有理　（相川記念病院）	定員9名 録音・録画
21日（日） 10：00～ 13：00	「不祥事」（あるいは「Dr.Y問題」）と呼ばれる出来事と 「学会のトラウマ」をめぐって ―― partⅢ　22+3年目の振り返り ――	企画者　：菊地寿奈美　（京都市スクールカウンセラー） 浅 田　護　（浅田心療クリニック） 河合 健彦　（群馬病院） 田 辺　等　（北星学園大学）	会員のみ 定員21名 録音
21日（日） 11：30～ 13：00	日本学術会議会員任命拒否問題を集団精神療法家が考える － 個人・組織・社会の観点から －	企画者　：荻 本　快　（相模女子大学） 藤　信 子 前 田　潤　（室蘭工業大学） 神宮 京子　（群馬病院） 桜庭 拓郎　（恵愛会青木病院）	定員なし 録音・録画
21日（日） 10：00～ 11：30	救急病棟におけるグループの実際と意義 － 地域生活支援をみこした急性期治療の展開 －	企画者　：吉川 真衣　（大阪医科大学神経精神医学教室） 高　富 栄　（こころのクリニック） 福澤 宏之　（北海道大学病院） 森本 松子　（八幡厚生病院） 二之宮正人　（八幡厚生病院） 東端 憲仁　（北海道立緑ヶ丘病院）	定員25名 録音・録画

Ⅰ. 児童・思春期・青年期

1. 児童心理治療施設における心理劇 ―児童や話題と共に変化する心理劇の機能―
井野めぐみ・小山龍太・神田大玄・菊池清美・堀川公平（社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園）

2. 児童心理治療施設Ａ園における治療共同体 ―繋がり支え合う全体スタッフ・ミーティング―
菊池清美・小山龍太・井野めぐみ・神田大玄・堀川直希・堀川公平（社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園）

3. コミュニティ・ミーティングの役割 ―新型コロナウイルス感染症の話題を通して―
神田大玄・菊池清美・堀川直希・堀川公平（社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園）

4. 小学生における言語媒介グループの成立過程とその効果 ―Child-Staff Meeting の実践を通して―
小山龍太・菊池清美・堀川公平（社会福祉法人風と虹 筑後いずみ園）

5. 当院における中高生を対象とした外来集団精神療法について ―C クリニックでのとりくみの報告―
高富栄（コこころのクリニック）

6. 中学生にとっての“グループ”の意味 ―受容体験及び対決体験が心理的成長に与える影響―
山口千鶴[1)]・畏岩秀章[2)]（[(1)]埼玉工業大学大学院 [2)]埼玉工業大学）

Ⅱ. 癌患者

7. がん患者への集団精神療法における実存的苦痛の改善プロセス ―参加者の語りを中心に―
中村千珠・河瀬雅紀（京都ノートルダム女子大学）

8. COVID−19 の影響下におけるオンラインがんサロンの展開
円山 拓子[1) 2)]・大島 寿美子[1) 3)]（[(1)]キャンサーサポート北海道 [2)]北海道医療センター [3)]北星学園大学）

Ⅲ. Covid19

9. コロナ禍の依存症臨床 ―構造変更プロセスに焦点を当てて―
加藤祐介・永尾奈生実（赤城高原ホスピタル）

10. コロナ禍のグループ心性
黒崎優美（神戸松蔭女子学院大学）

11. COVID-19 禍における対面グループのオンラインへの移行
―「丁寧にグループを勉強する会」におけるメンバーへのアンケート調査結果から―
杉山恵理子[1)]・藤巻加奈子[2)]（[(1)]明治学院大学・[2)]誠心会神奈川病院）

Ⅳ. 依存症

12. 依存症病棟におけるグループの実際
山崎圭美・樽谷精一郎（特定医療法人 大阪精神医学研究所 新阿武山病院）

Ⅴ. メンタライゼーションに基づく治療

13. メンタライゼーションに基づく治療(MBT):グループでの実践例 ―MBT の集団療法と個人療法の比較―
荻本快（国際基督教大学教育研究所）

14. メンタライジングな組織作りを考える ―スケープ・ゴート理論を手掛かりとして―
大橋良枝（聖学院大学）

Ⅵ. 実践・研究報告

15. 不登校の親の会のコンサルテーション
野島一彦（跡見学園女子大学）

16. マインドフルネスの定着と症状変化の関連について
高橋さやか・徳永雄一郎（不知火病院）

17. 災害後の多様な「持ち場」をグループの視点で考える
藤澤美穂（岩手医科大学教養教育センター）

18. 治療者からみたグループの意義とメンバーの体験の整合性 ―SCT グループの質的研究から―
鴨澤あかね[1)]、大島寿美子[1)]、水川喜文[1)]、泉屋有理[2)]（[1)]北星学園大学 [2)]相川記念病院）

19. コンダクターが途中で入れ代わるグループ ―グラウンドルールの変化を受け入れる―
橋本明宏(慈雲堂病院デイケア)